

群馬県立県民健康科学大学大学院 診療放射線学研究科 3つのポリシー

● アドミッションポリシー

1 博士前期

群馬県立県民健康科学大学大学院診療放射線学研究科博士前期課程では、診療放射線学に関わる実践的な問題解決能力を持つ高度医療専門職者、研究者及び教育者の養成を目的としています。この目的を達成するために以下のアドミッション・ポリシーに従い入学者の選抜を行います。

- (1) 診療放射線学の教育を受けるための基礎学力を持っていること
- (2) 診療放射線学に対する深い関心と強い目的意識を持っていること
- (3) 診療放射線学における課題を自ら見だし解決する意欲を持っていること
- (4) 診療放射線学の修得を通して広く社会へ貢献する意欲を持っていること
- (5) 診療放射線学を基礎とした高度医療専門職者、研究者、教育者を目指していること

2 博士後期

群馬県立県民健康科学大学大学院診療放射線学研究科博士後期課程は、診療放射線学に資する研究成果を産出するための高度な能力を持ち、研究成果について群馬県をはじめ全国各地域の放射線診療に創造性をもって展開できる人材の養成を目的としております。

この目的を達成するために以下のアドミッション・ポリシーに従い入学者の選抜を行います。

- (1) 診療放射線学研究を進めるための高い学力を持っていること
- (2) 診療放射線学に対する深い関心と強い目的意識を持っていること
- (3) 診療放射線学における課題を自ら見だし解決する意欲を持っていること
- (4) 診療放射線学の修得を通して広く社会へ貢献する意欲を持っていること
- (5) 診療放射線学分野の臨床研究者及び教育者、並びに高度医療専門職のリーダーを目指していること

● カリキュラムポリシー

1 博士前期

診療放射線学研究科には放射線画像検査学分野及び放射線治療学分野の 2 分野を編成し、各々の分野に対応する「専門科目」、並びに両者に共通する「共通科目」を置く。

本研究科で開講する授業科目はすべて演習科目とする。また、本研究科学生の学修目的に応じた幅広い科目履修を可能にするため、必修科目である診療放射線学特別研究を除いたすべての授業科目を選択科目とし、修了単位として認める。

2 博士後期

診療放射線学研究科博士後期課程には放射線画像検査学分野及び放射線治療学分野の 2 分野を編成し、各々の分野に対応する「専門科目」、並びに両者に共通する「共通科目」を置く。

本研究科博士後期課程で開講する授業科目はすべて演習科目とする。また、本研究科博士後期課程学生の学修目的に応じた幅広い科目履修を可能にするため、必修科目である診療放射線学特別研究を除いたすべての授業科目を選択科目とし、修了単位として認める。

「専門科目」は、博士前期課程との連続性を保持し、専門 2 分野に対応した授業科目で構成する。

「共通科目」は、保健医療分野全般にわたる広い知識を持ち、かつ高度な専門性を兼ね備えた研究者、教育者、放射線技術部門のリーダーを育成することを目的として、教育能力や組織管理能力を高めるための授業科目を設定する。

● ディプロマポリシー

1 博士前期

- (1) 診療放射線学に関する高度な知識を修得し、専門分野の研究動向を把握していること
- (2) 研究遂行に必要な幅広い知識、手法・技術を身につけ、論理的思考に基づき主体的に実施できること
- (3) 医療専門職としての倫理観やコミュニケーション能力を身につけていること
- (4) 研究チームの一員として、協働して研究課題を立案し、解決できること
- (5) 科学的根拠に基づいた研究を実施し、国内外に成果を発信できること

2 博士後期

- (1) 診療放射線学に関する高度な知識を修得し、専門分野について独創的な研究課題を設定できること
- (2) 大学及び大学院教育を担える高度な教育能力を身につけていること
- (3) 医療現場における諸問題を解決できる広い視野と洞察力を有し、研究心をもって問題解決に取り組めること
- (4) 放射線技術部門においてリーダーシップを発揮できるとともに、他の医療専門職との連携を確立することによってマネジメント能力を発揮してチーム医療を推進できること
- (5) 診療放射線学における科学的根拠を構築するための研究を展開し、学際的研究・国際的研究に寄与できること